

令和6年度グリーンアップおおいた推進会議

令和6年10月23日（水）10：30～11：30
レンブラントホテル大分 二豊の間

次 第

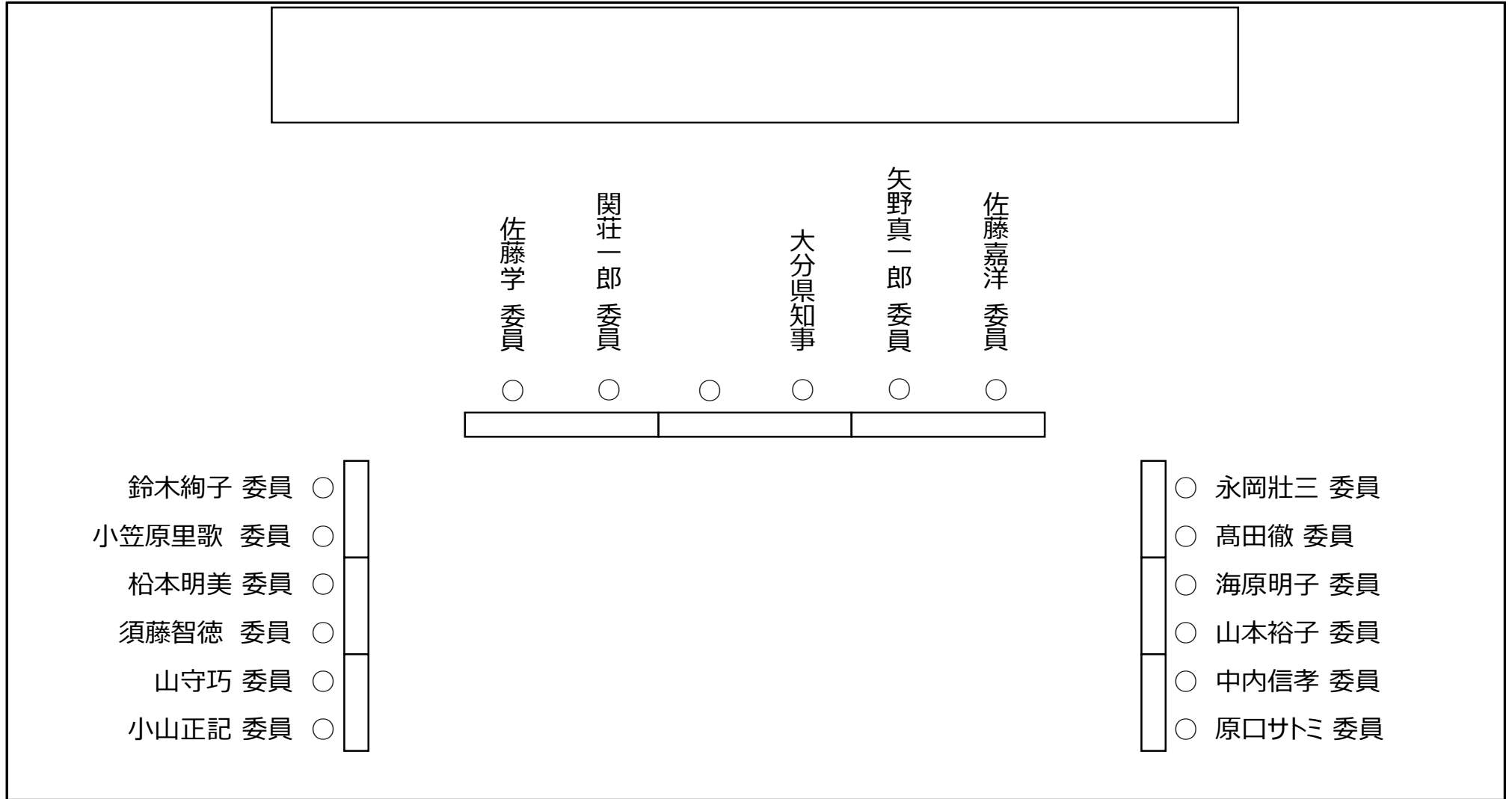
- 1 開会
- 2 知事あいさつ
- 3 グリーンアップおおいた推進会議会長選出
- 4 報告事項
 - ・ 第4次大分県環境基本計画の策定について
- 5 表彰
 - ・ グリーンアップおおいた「名称」最優秀者
 - ・ グリーンアップおおいた「ロゴマーク」最優秀者
- 6 議事
 - ・ グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について
- 7 閉会

グリーンアップおおいた推進会議 委員名簿

(敬称略)

	氏 名	所属等	役 職		氏 名	所属等	役 職
1	小山 正記	九重の自然を守る会	事務局長	11	関 莊一郎	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター	理事長
2	山守 巧	特定非営利活動法人水辺に遊ぶ会	事務局長	12	矢野 真一郎	一般社団法人大分県産業資源循環協会	会長 株式会社レックス九州
3	渡部 順子	祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク関連団体	株式会社Kabosu Company	13	佐藤 嘉洋	大分県環境保全協議会	会員 株式会社熊野建設 代表取締役社長
4	須藤 智徳	立命館アジア太平洋大学	サステナビリティ観光学部教授	14	江藤 あけみ	大分県商工会女性部連合会	理事
5	矢野 雄士	株式会社大分銀行	地域創造部推進役	15	高田 徹	株式会社トキハインダストリー	総務人事部総務課長
6	裕本 明美	特定非営利活動法人チーム1.5おおいた	理事長	16	牧 達夫	公益財団法人大分県老人クラブ連合会	会長
7	小笠原 里歌	大分県地球温暖化防止活動学生推進員	立命館アジア太平洋大学1年	17	海原 明子	特定非営利活動法人国東市手と手とまちづくりたい	副理事長
8	鈴木 絢子	大分大学	理工学部助教	18	山本 裕子	特定非営利活動法人さわやか佐伯	理事長
9	永岡 壯三	大分県エネルギー産業企業会	企画運営委員長 大分石油株式会社 代表取締役	19	中内 信孝	大分市キャンプ協会	会長
10	佐藤 学	大分コンビナート企業協議会	会長 ENEOS株式会社 大分製油所長	20	原口 サトミ	大分県環境教育アドバイザー	

令和6年度グリーンアップおおいた推進会議 配席図



グリーンアップおおいた推進会議設置要綱

(設置)

第1条 本県の恵み豊かで美しく快適な環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点を加え、経済の発展も促す取組を進める「環境先進県おおいた」を目指す県民運動（以下「グリーンアップおおいた」という。）を推進することを目的とし、グリーンアップおおいた推進会議（以下「推進会議」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 推進会議は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。

- (1) グリーンアップおおいたの推進に必要な取組の立案に関する事。
- (2) 前号の取組を自ら実践しつつ、広く県民にも実践を呼びかけ、グリーンアップおおいたを唱導すること。
- (3) その他グリーンアップおおいたの推進に必要な事項に関する事。

(組織)

第3条 推進会議は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者、環境関係団体の代表者等の中から、知事が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は2年以内とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員に欠員が生じたときは、知事が新たに補欠委員を委嘱することができる。補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長)

第5条 推進会議に、会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、推進会議を代表し、会務を総理する。

3 会長に事故があるときは、あらかじめ会長が指名する委員がその職務を代理する。

(顧問)

第6条 推進会議に顧問を置き、知事をもって充てる。

(会議)

第7条 推進会議は、会長が必要に応じて招集し、その議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

報告事項「第4次大分県環境基本計画の策定について」

計画の性格・位置付け

- 大分県環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する長期的な目標及び施策の基本的な方向を定めたもの
- 県長期総合計画の部門計画
- 大分県環境教育等行動計画と一体策定

計画期間

- 令和6年度～令和15年度(10年間)

目指すべき環境の将来像

近年、企業や人々の意識が高まり、環境への配慮が社会的価値を生む時代となる中、これからの環境政策においては、本県の恵み豊かで美しく快適な環境を「守る」のみならず、「活かして選ばれる」視点を持つことが大切です。

これまでの環境政策を継承しつつ、企業の環境対策、環境保全活動などに新たな社会的価値を付け、経済の発展も促していく取組をグリーンアップおおいたとして展開することにより、「環境先進県おおいた」の実現を目指していきます。

恵み豊かで美しく快適な環境先進県おおいた

環境を「守る」取組

- ✓再エネ・省エネの導入など温室効果ガスの排出削減、森林などの吸収源対策
- ✓プラスチックごみの削減(プラごみゼロ宣言)
- ✓生物多様性の保全(自然共生地域拡大)等

ビジネスなどに「活かす」取組

- ✓グリーン・コンビナートおおいた推進構想
- ✓ものづくり産業の循環経済への転換(産業廃棄物の発生抑制、減量化、再利用等)
- ✓エコツーリズムの推進

国内外から「選ばれる」

観光誘客
自然志向の観光客など

移住・定住・交流
サステナブル意識の高い都市住民・学生・企業など

企業進出・官民投資
社会的責任を果たしたい企業
GXに取り組む企業など

主な取組

(基本目標1)
地球温暖化の緩和と
気候変動への適応

(基本目標2)
経済と環境の好循環を
生み出すGXの推進

(基本目標3)
環境への負荷を抑えた
循環型社会の構築

(基本目標4)
豊かな自然の保全と活用

(基本目標5)
環境を守り活かす
担い手づくりの推進

基盤的施策の推進(環境影響評価の推進、環境に配慮した取組の推進、公害紛争等の適正処理)

計画の進行管理

- 環境指標とその達成目標の設定、毎年度、進捗状況を把握・確認し検証

- 進捗状況の報告→環境施策への意見の反映
・県議会 ・県環境審議会、推進会議等

- 公表
・環境白書、県ホームページ

報告事項「第4次大分県環境基本計画の策定について」

(基本目標1) 地球温暖化の緩和と 気候変動への適応

1 温室効果ガスの排出削減の推進

- ・ 大分県地球温暖化防止活動学生推進員等との連携による温室効果ガス排出削減に向けた普及・啓発
- ・ 高効率な設備機器等の導入や省エネルギー性能の向上に効果的な高断熱化の促進
- ・ 公共交通機関の利用、電気自動車やハイブリッド車等の普及促進
- ・ おおいたグリーン事業者(脱炭素部門)の拡大

2 吸収源対策の推進

- ・ 早生樹による再造林、県産材の利用拡大の推進

3 気候変動適応策の推進

- ・ 水害等の頻発・激甚化に対応した治水対策、土砂災害対策の推進
- ・ 熱中症予防対策の普及、熱中症一時休憩所やクーリングシェルターに関する情報提供を実施
- ・ 農作物の高温耐性品種への転換

(基本目標2) 経済と環境の好循環を 生み出すGXの推進

1 GXの挑戦による「経済と環境の好循環」の創出

- ・ グリーン・コンビナートおおいた推進構想の実現
- ・ GXに挑戦する事業者への支援

2 大分県版水素サプライチェーンの構築

- ・ 水素エネルギーの利活用拡大に向けた取組の推進
- ・ 低炭素水素製造設備の整備に向けた取組への支援

3 エネルギー関連産業の成長促進

- ・ 地熱等本県の強みを活かした再生可能エネルギーの導入促進
- ・ 県有施設へのエコエネルギー導入推進
- ・ エネルギー関連企業による研究開発や販路開拓への支援

4 ものづくり産業の循環経済への転換

- ・ モノのライフサイクル全体を考慮した製品づくり等への支援

(基本目標3) 環境への負荷を抑えた 循環型社会の構築

1 プラスチックごみなどの廃棄物の排出抑制、循環的利用の推進

- ・ おおいたプラごみゼロ宣言に基づく県民、事業者、行政の一体的な対策の推進
- ・ おおいたグリーン事業者(脱プラスチック部門)の拡大
- ・ 3Rの推進に向けた普及・啓発

2 廃棄物の適正処理の推進

- ・ 廃棄物処理体制の整備
- ・ 不法投棄防止対策の強化

3 大気環境対策の推進

- ・ 大気汚染物質の排出抑制対策の推進
- ・ 建築物の解体工事等による石綿飛散防止対策の推進
- ・ 道路交通や工場・事業場等の騒音・振動・悪臭防止対策の推進

4 水・土壌・地盤環境対策の推進

- ・ 河川・海域等の環境基準達成に向けた負荷の低減
- ・ 海岸クリーンアップ活動の推進

5 化学物質等に係るリスクコミュニケーション

- ・ 化学物質による環境リスクの低減及びリスクコミュニケーションの推進

(基本目標4) 豊かな自然の保全と活用

1 生物多様性の保全・回復の推進

- ・ 環境保全活動への参加促進などの自然保護意識の醸成
- ・ おおいたの重要な自然共生地域の選定拡大など保全活動の促進

2 快適な地域環境の保全

- ・ 農山漁村の多面的機能の維持・保全
- ・ 藻場や干潟の保全・再生の推進

3 持続可能な温泉利用の推進

- ・ モニタリング調査による温泉資源の衰退化の未然防止
- ・ 温泉資源の適正利用の推進

4 ユネスコエコパークなど地域資源を活用した地域づくりの推進

- ・ ユネスコエコパーク、日本ジオパーク、阿蘇くじゅう国立公園、世界農業遺産等を活用した地域づくりの推進
- ・ 農山漁村ツーリズムの推進
- ・ 地域資源の持続可能な利活用に向けた大学との連携による調査研究の推進

(基本目標5) 環境を守り活かす 担い手づくりの推進

1 “未来”につながる人材育成

- ・ 幼児向け環境劇など世代に応じた環境教育の推進
- ・ グリーンアップおおいたアドバイザーなどの環境教育を担う人材の育成

2 持続可能な“活動”につながる環境の整備

- ・ 環境保全団体の立上げ支援や活動状況の情報発信、顕彰等の実施

3 “元氣”につながる活動への深化

- ・ 環境保全団体を受入れ先とした国内外からの誘客等の推進

基盤的施策の推進(環境影響評価の推進、環境に配慮した取組の推進、公害紛争等の適正処理)

表彰「グリーンアップおおいた」名称最優秀者」

1 応募状況

(1) 応募作品総数：782点（うち県内270点）

(2) 応募者数：455人（うち県内220人）

(3) 応募年代：10歳未満（1人）、10代（60人）、20代（46人）、30代（60人）、40代（79人）、50代（85人）、60代（69人）、70歳以上（53人）、不明（2人）

2 最優秀作品


名称	名称の説明	考案者	住所
グリーンアップおおいた	green up（グリーンアップ）は（若葉がもえ出て）緑が濃くなる、（茶色などから）緑に変わるという意味があり、恵み豊かなイメージです。グリーンはクリーンと響きが似ており美しく快適なさまを、アップはこれまでの環境政策を維持しつつ次の段階へ進むという意味も込めています。	山本 明穂 さん	大分県大分市

表彰「グリーンアップおおいた」ロゴマーク」最優秀者」

1 ロゴマークデザイン制作方法

大分県立芸術文化短期大学に依頼、美術科の学生が作成したデザイン案の中から選考

2 最優秀作品

ロゴマーク	ロゴマークの説明	考案者	住所
	<p>大分の豊かな自然や、恵まれたかけがえない環境を「次の世代に承継していくこと」をコンセプトに、自然を手渡して次につないでいくようなイメージを二つの手で表現しました。</p> <p>また、「グリーンアップおおいた」の環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点も加え「守る」については、両手で葉を抱きかかえるように表現、「活かして選ばれる」については、大分県の豊かな自然が県内外から人々を惹きつける様を両手から力強く茂る（アップ）葉で表現しました。</p>	佐藤 恋 さん	大分県大分市

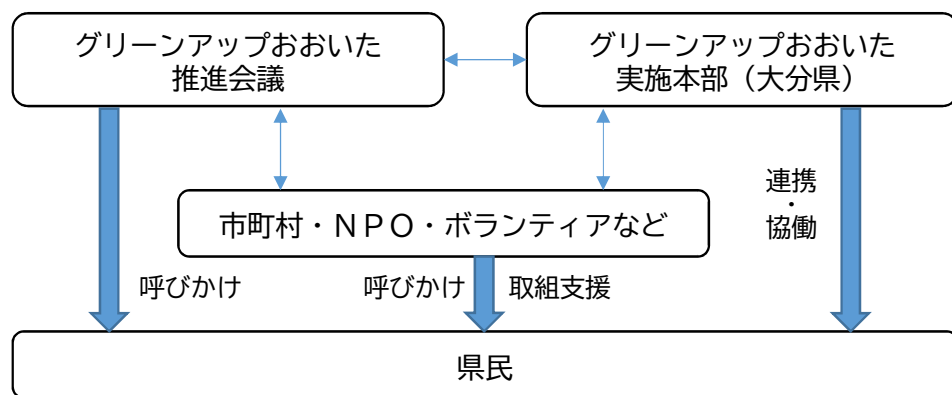
議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」 ・「グリーンアップおおいた」とは

第4次大分県環境基本計画（令和6年9月24日決定）のもと、本県の恵み豊かで美しく快適な環境を「守る」のみならず「活かして選ばれる」視点を加え、経済の発展も促す取組を進めて「環境先進県おおいた」の実現を目指す県民運動。

（取組の方向性）

1 県民の行動変容の促進

「グリーンアップおおいた推進会議」を中心に、脱炭素、循環経済、環境保全・活用の観点から、県民の皆さんに特に取り組んでもらいたい事項を提示し、実践行動を呼びかけることで行動変容を促進



2 企業や団体の取組の後押し

脱炭素（大分県版カーボンニュートラル）

- 環境貢献を通して企業価値の向上に取り組む事業者の支援
- 脱炭素の取組を面的に広げ、地域の価値へとつなげていく取組の実施
- 水素の供給や利活用、カーボンリサイクルの推進

循環経済

- 「プラごみゼロ宣言」に基づく普及啓発や、リサイクル技術の社会実装の推進

環境保全・活用

- 豊かな自然の魅力発信と人材交流の促進

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

- ・ 県民の皆さんに特に取り組んでもらいたい事項

「グリーンアップおおいた」のスタートにあたり、「脱炭素（大分県版カーボンニュートラル）」「資源循環」「環境保全」の分野から県民の皆さんに特に取り組んでもらいたい事項をピックアップ。

	ステップ1	ステップ2
脱炭素	こまめな消灯などに取り組み、家電の買い換えはLEDなど省エネ型にしよう	九州エコファミリー応援アプリ「エコふぁみ」を使ってエコライフを始めよう
	宅配は確実に受け取れる配送日時と場所（コンビニ、置き配含む）を指定しよう	都合が悪くなったら、事前に宅配事業者へ変更の連絡をしよう
	健康アプリ「おおいた歩得(あるとつく)」を使って徒歩で出かけよう	自転車（シェアサイクル含む）、公共交通機関を利用しよう
資源循環	食品トレイ・ペットボトルを分別しよう	食品トレイ・ペットボトルをスーパーの回収箱に持っていこう
	環境ラベルのついた商品を探してみよう	環境ラベルのついた商品を選んで買おう
	買い物前には冷蔵庫をチェックしよう	賞味期限の短いものから買って、食べよう
環境保全	ごみは持ち帰ろう	ごみ拾いなど環境保全活動に参加しよう

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【脱炭素】省エネ・エコライフ

【県の課題意識】

- ◆ カーボンニュートラルに向け、一人一人ができることとして省エネは引き続き大切であり、もう一度原点に立ち返って生活を見直すことが必要。
- ◆ 省エネ行動等にインセンティブを与える仕組みとして、九州7県公式環境アプリ「エコふあみ」があり、その一層の普及を図ることが必要。

ステップ1

- こまめな消灯などに取り組み、家電の買い替えはLEDなど省エネ型にしよう

【県の主な施策】



○うちエコ診断

環境省公認の「うちエコ診断士」が、各家庭のエネルギー使用量や光熱費をもとに、対面又はWEBで、無理なくできる省エネやCO₂削減をアドバイス

大分県うちエコ診断センター（有ふゆーちゃー内）

○高効率給湯器導入事業費補助金

CO₂削減効果大きいヒートポンプ給湯器（エコキュート）等を導入する家庭にその経費の一部を補助

補助率1/2 上限15万円

申請窓口：大分県建築住宅センター

ステップ2

- 九州エコファミリー応援アプリ「エコふあみ」を使ってエコライフを始めよう

【県の主な施策】

○エコふあみ

省エネ、省資源など地球環境にやさしい活動に取り組んでポイントを獲得。ポイントが貯まると九州各地の特産品などが当たる抽選に参加できる。

（ポイントが獲得できる行動例）

- ・電気、ガス、ガソリンの使用量等の記録
- ・エコイベントへの参加
- ・エコふあみ協賛店への来店



Android版



iPhone版

「ダウンロードこちらから」

議事「グリーンアップおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【脱炭素】宅配1回受け取り

【県の課題意識】

- ◆ 宅配便の約1割が再配達になるとされており、配送トラックによるCO₂の排出を増加させるだけでなく、運送業界の人手不足問題にも悪影響を及ぼしている。EC事業者や宅配事業者は、配達の日時、場所について様々なオプションを用意しており、その利用を後押しすることが必要。

ステップ1

- 宅配は確実に受け取れる日時と場所（コンビニ、置き配含む）を指定しよう

ステップ2

- 都合が悪くなったら、事前に宅配事業者へ変更の連絡をしよう

宅配事業者	サービス名	日時指定	場所指定
ヤマト運輸	クロネコメンバーズ	配達日時のお知らせ、 変更連絡（公式アプリ、LINE、メール）	コンビニ、営業所、置き配、 宅配ロッカーいずれも可
日本郵便	e受取アシスト	配達日時のお知らせ、 変更連絡（LINE、メール）	同上
佐川急便	スマートクラブ	配達日時のお知らせ、 変更連絡（公式アプリ、LINE）	同上

【県の主な施策】

○宅配1回受け取りキャンペーン

- ・YouTubeCM「わんキャッチーdeエコだニヤー」制作・公開
- ・ちらし作成



議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【脱炭素】環境負荷の少ない移動選択

【県の課題意識】

- ◆ 運輸部門の排出削減は、家庭や業務部門と比較すると減少率が小さいため、県民に対しさらなる努力を求める必要がある。

ステップ1

- 健康アプリ「おおいた歩得（あるとつく）」を使って徒歩で出かけよう

【県の主な施策】

○おおいた歩得（あるとつく）

生活習慣の改善につながる行動に取り組んでポイントを獲得。ポイントが貯まると協力店で特典が受けられる。

（ポイントが獲得できる行動例）

- ・ 日常のウォーキング
- ・ 健康イベントへの参加
- ・ 健診や体力テストの受診
- ・ 体育施設の利用

「ダウンロードはこちらから」



Android版



iPhone版

ステップ2

- 自転車（シェアサイクル含む）や公共交通機関を利用をしよう

【県内自治体の主な施策】

○おおいたサイクルシェア（大分市事業）

公式アプリに登録すると、大分市内と別府市内にあるサイクルポートに設置された電動アシスト自転車をレンタルで利用できるサービス。

利用料金：165円/回（～30分）など

ポート数：約70カ所

運営：㈱ドコモ・バイクシェア



「ダウンロードはこちらから」



Android版



iPhone版

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

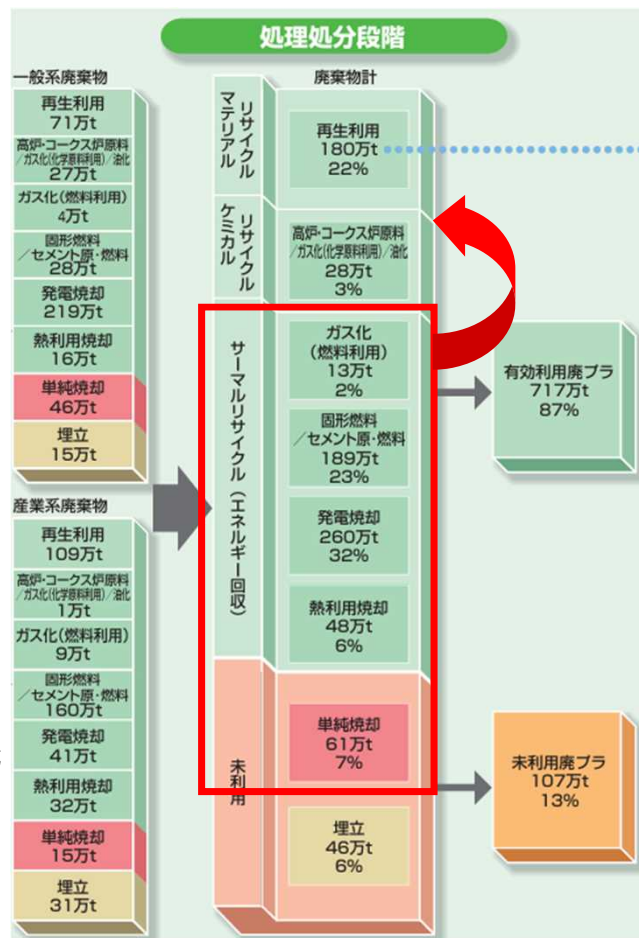
・【資源循環】食品トレイ・ペットボトルの分別回収

【県の課題意識】

- ◆ 回収されたプラスチックごみの多くは焼却されており、資源循環やCO2削減の観点からマテリアル・ケミカルリサイクルを増やしていくことが必要。

ステップ1

- 食品トレイ・ペットボトルを分別しよう



出典：プラスチックリサイクルの基礎知識 2024
（一社）プラスチック循環利用協会

ステップ2

- 食品トレイ・ペットボトルをスーパーの回収箱に持っていこう

【県の主な施策】



○スーパーを通じた食品トレイ・ペットボトルのリサイクル促進

- ・協力店舗の募集（現在69店舗）
- ・協力者には環境アプリ「エコふあみ」のポイントを付与

発泡トレーの回収

回収された発泡トレーはリサイクルセンターに運ばれて再生トレー(エコトレー)としてリサイクルされています。この再生トレーは通常のトレーに比べ約30%のCO2削減効果があり、資源の削減とともに地球温暖化防止にもつながります。



出典(株)トキハイナダストリー環境レポート

トレーメーカーで粉碎・溶解後、ペレット状にされ、エコトレーに生まれ変わります

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【資源循環】環境負荷の少ない商品選択

【県の課題意識】

- ◆ プラスチックの再生材を使ったリサイクル製品など、環境負荷に配慮した商品は、コスト高が要因となり、普及が進みにくい面がある。環境ラベルに着目することを通して、消費サイドからも資源循環を後押ししていくことが必要。

ステップ1

環境ラベルのついた商品を探してみよう

エコマーク



運営主体名
公益財団法人日本環境協会

対象物品等
日用品・家庭用品、文具・事務用品、OA機器・サブライ、家電、家具、ファッション、土木建築資材、食品・飲料（容器包装）、サービス（ホテル、レストラン、小売店、自動車保険）他

PETボトルリサイクル推奨マーク



運営主体名
PETボトル協議会

対象物品等
衣料関連（ハンガー等含む）、布小物・バッグ・ぬいぐるみ、台所用品・清掃用品、家庭用品・園芸用品、寝具・インテリア、文房具・事務用品、収集容器・包装容器 他、産業土木・建築資材、梱包バンド、スポーツ用品、屋外掲示物、その他

再生紙使用マーク



運営主体名
3R活動推進フォーラム（旧ごみ減量化推進国民会議）

対象物品等
用紙類、紙製事務用品、印刷物、衛生用紙

ステップ2

環境ラベルのついた商品を選んで買おう

Global Recycle Standard (GRS)



運営主体名
Textile Exchange

対象物品等
繊維製品、繊維原料等

【県の関連施策】

○グリーン購入制度

文具、設備機器類など221品目について、環境負荷の低減に配慮した物品の調達を実施

○大分県リサイクル認定製品

循環型社会の形成を目指して、県内で製造される優れたリサイクル製品を認定する制度。

環境ラベルの例（環境省「環境ラベル等データベース」より）

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【資源循環】食品ロスの削減

【県の課題意識】

- ◆ 世界的な課題となっている食品ロスの削減について、食品ロス削減推進法に基づき進める国や事業者の取組に呼応し、県民の意識を高めていくことが必要。

ステップ1

- **買い物前には冷蔵庫をチェックしよう**

食品ロスゼロの達人になろう!

食品ロスをゼロにするために何ができるかな?
お家の方といっしょに考えてみよう!



おいしく食べきるために...

- ▶ 好ききらいをせずに食べきろう
- ▶ ごはんの前におかしを食べすぎないようにしよう
- ▶ **賞味期限の近いものから食べよう**

食べきれない食べ物を買ってしまわないために...

- ! **お買い物に行く前に...**
- ▶ **冷蔵庫に入っている食べ物を確認しよう**
(たとえば、納豆やヨーグルトなどが残っていないかな?)
- ▶ **買うものを整理してメモを作ろう**

- ! **お買物をしている間は...**
- ▶ **安い時も買いすぎないように気をつけよう**
- ▶ **はかり売り・ばら売りをうまく使おう**

長くおいしく食べるために...

- ▶ **食べ物を長持ちさせるテクニックを調べてやってみよう**
(たとえば、野菜はふくろに入れておくなど)

出典：7日でチャレンジ!
食品ロスダイアリー
(環境省食品ロス
ポータルサイト)

ステップ2

- **賞味期限の短いものから買って、食べよう**

【県の主な施策】

○食べきりキャンペーン

外食時においしく食べきって、食べ残しを減らすことを呼びかける運動。ハーフや小盛り、年齢や男女別のメニューの提供等を行う飲食店等に、外食時の食べきりを促すポスター・ポップを掲示。
(303店舗)

○てまえどりキャンペーン

商品棚の手前にある商品等、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶことを推奨する運動。少量パック、ばら売り、量り売り、閉店前の割引等を行う小売店等に、てまえどりを促すポスター・ポップを掲示。(123店舗)

○おおいた30・10(さんまる・いちまる)運動

宴会等の乾杯後30分間と終了間10分間は、席を離れず食事を楽しみ、食べ残しをなくそうという運動。

○「大分県食品ロス削減取組事例集」の作成

事業系食品ロス削減に取り組む県内9事業者を紹介。

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・【環境保全】環境保全活動への参加促進

【県の課題意識】

- ◆ 人口減少は、自然が豊かな地方部において特に深刻化しており、自然保護など環境保全活動への参加者を確保することは容易ではない。おおいたうつくし作戦の目的を継承し、引き続き多くの県民や企業に環境保全活動への協力を呼びかけていくことが必要。

ステップ1

- ごみは持ち帰ろう

ステップ2

- ごみ拾いなどの環境保全活動に参加しよう

【県の主な施策】

○「グリーンアップおおいた実践隊」の登録と支援

地球温暖化対策、廃棄物削減・循環利用、水環境保全、自然環境の保全・活用、地域環境美化（清掃、緑化等）に取り組む団体を「グリーンアップおおいた実践隊」として登録

（主な支援内容）

- ・活動の情報を県のインスタグラム等で発信
- ・活動にかかる経費の一部を補助（上限10万円）

グリーンアップおおいた実践隊登録団体
（令和6年10月10日現在）

No	名称	活動場所	No	名称	活動場所
1	大分市キャンプ協会	大分市	18	由布市湯布院町青少年ボランティアサポートセンター/ちょぼらクラブ	由布市
2	NPO法人水辺に遊ぶ会	中津市	19	株式会社アイビック	大分市
3	ゆうび株式会社	大分市	20	鬼塚電気工事株式会社	大分市
4	大分市府内五番街商店街振興組合	大分市	21	庄内水の輪会議	由布市
5	九州電力株式会社新大分発電所	大分市	22	NPO法人国東市手と手とまちづくりたい	国東市
6	馬場自治会	大分市	23	三角台を守る会	臼杵市
7	妙音山を守る会	由布市	24	柴北川を愛する会	豊後大野市
8	NPO法人さわやか佐伯	佐伯市	25	学校法人溝部学園別府溝部学園高等学校ボランティア部	別府市
9	みんなのおうち	宇佐市	26	株式会社オーイーシー	大分市
10	山のカケラ	杵築市	27	永慶寺山登り83戸組合	由布市
11	龍昇の滝を守る会	由布市	28	大分県信用組合	大分市
12	NPO法人チーム1.5おおいた	大分市	29	日本たばこ産業株式会社大分支社	大分市
13	日出町内堀エコクラブ	日出町	30	佐伯クリーンアップ推進隊	佐伯市
14	奈多狩宿住吉海岸の松林を守る会	杵築市	31	永興老人クラブ「永寿会」	大分市
15	杵築市まちピカ運動推進委員会	杵築市			
16	佐伯地区B.B.S会	佐伯市			
17	河原内自然環境保全くらぶ	大分市			

議事「グリーンアップおおいたアクション（具体的な行動変容の呼びかけ）について」

・グリーンアップおおいた 当面のスケジュール

脱炭素、資源循環、環境保全の3つの観点から実施するイベント、講座、プロモーション、補助事業等に「グリーンアップおおいた」を冠し、連続的にキャンペーンを展開する。

	10月	11月	12月
脱炭素	省エネ診断「うちエコ診断」		
	宅配1回受取りキャンペーン		
	高効率給湯器導入事業費補助金（～12/27）		
		● 11/17 地球温暖化防止推進大会	● 12/15 温暖化対策講座_大分 ● 12/21 温暖化対策講座_中津
資源循環	おいしい大分食べきりキャンペーン（食べきり協力店・応援店の募集等） / おおいた30・10運動		
	てまえどりキャンペーン		
	食品ロス削減月間、県内一斉フードドライブ（～11/17）		
	3R推進月間		
環境保全	グリーンアップおおいた実践隊登録募集		
	● 10/12・13 竹の国造り体験会（山のカケラ）	● 10/27 カモシカシンポジウム	● 12/7 グリーンアップおおいたデイ
	● 10/19 的が浜清掃自然観察会（三角台を守る会）	● 11/3 Clean活動デーin祖母・傾・大崩エコパーク	
	● 10/20 ごみ拾いウォークラリー等（チーム1.5おおいた）	● 11/3 大分川清掃（庄内水の輪会議）	
	● 10/20 日本一の里山づくり（永慶寺山登り83戸組合）	● 11/17 ごみ拾いウォークラリー等（チーム1.5おおいた）	
		● 11/23 バスで行く小熊山古墳めぐりと環境保全活動（奈多狩宿住吉海岸の松林を守る会）	